

さんま通信

夏



厚生中央病院だより 第50号 2017年



ご挨拶

事務部長 野間 誠

みなさん、こんにちは。

4月に着任し、季節は早くも夏を迎え、改めて月日の経過が早いことを感じているところです。当院での勤務には4年間のブランクもあり、職責や病院を取り巻く環境の変化に戸惑うこともありますが、良くも悪くも院内の雰囲気には大きな変化は感じられず、この点は安堵して勤務させていただいています。

当院では、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題に向け、高齢化社会に対応した地域の中核となる病院として、医療連携の強化や在宅療養後方支援病院としての役割など地域の開業医の先生方や介護施設、在宅看護等に携わる方々との連携を一層深めていく取組みや来年1月には、全国土木建築国民健康保険組合の直営病院としての役割の一つである被保険者の健診事業（レディース・ドックの開業）強化も予定されているところです。

事務部は、これらの病院運営が円滑に実施されるよう医療事務はもとより、建物等の施設管理や病院職員の人事管理等を行う部署となっております。

本来、支障なく対応することが求められているところではありますが、皆様からいただく、ご意見内容の多くが施設や接遇面となっていることに憂慮しているところでもあります。

当院は、恵比寿地区の整備計画に伴い、地域の方などの理解のもと新病院として、平成4年6月に開業後25年が経過いたしました。

施設面において、整備が追いついていないなど対応しきれないところもありますが、事務部としていただいた、ご意見を真摯に受け止め対応できればと思っております。

病院の理念でもあります組合被保険者、地域の人々に貢献できる病院を目指し、努力して参りますので今後ともよろしく申し上げます。



目次 contents

ご挨拶 1

発達障害ってなに？
～気になる子どもたち～... 2～3

骨粗鬆症専門外来のお知らせ(整形外科)
失神でお悩みの患者様へ 4
リビールリンク(Reveal LINQ®)検査について(循環器内科)
高齢化医療支援委員会を設置して取り組んでいます

どうして？
さんま通信の

目黒で野駈けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

発達障害ってなに？ ～気になる子どもたち～

小児科医長

森地 振一郎

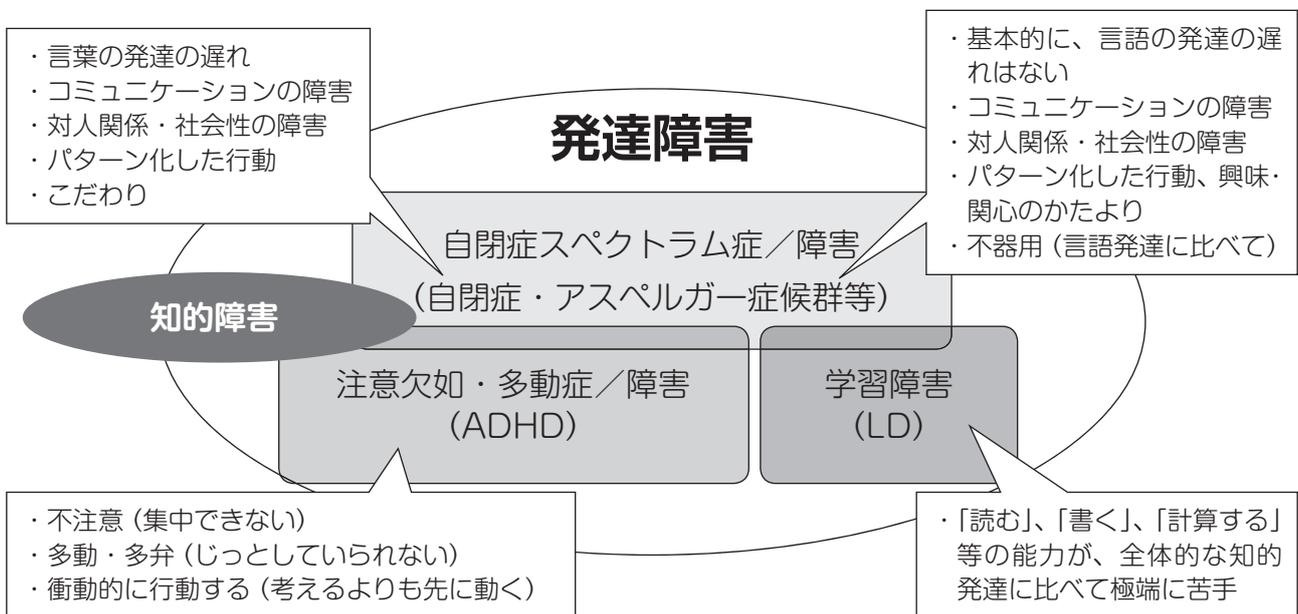
皆さん、「発達障害」ってご存知ですか？近年はメディアで取り上げられ、一般にも「脳の病気」として浸透してきています。

「発達障害」は英語の「neurodevelopmental disorder」の訳語です。「disorder」という言葉は「dis-(～ではない)」+「order(秩序や順序)」が組み合わさってできた言葉ですから、神経の発達段階における秩序や順序が整っていない状態、と考えられます。そのため、「物事の妨げ」という意味の「障害」という日本語訳を使用するには、否定的な意見もあります。あくまで患者さんそれぞれの状態や特性を表した言葉と受け止めるといいでしょう。

発達障害のある人は、他人とのかかわりやコミュニケーションが苦手なことが多く、態度や行動パターンから「変わった人」「困った人」と誤解されやすい側面がある一方で、優れた能力を発揮して活躍している人たちは沢山います。個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくために、幼少期から適切なサポートと周囲の理解が大切です。

発達障害の原因はかつて指摘されたような親のしつけや教育ではなく、脳機能の障害によるものだと理解していれば、私たちの接し方も変わってくると思います。

ここで皆さんの理解を深めていただくために、代表的な発達障害の特徴を紹介します。



(厚生労働省ホームページより一部改変)

【1】自閉症スペクトラム症/障害

「対人関係の質的な障害」「コミュニケーションの障害」「反復・常同的な行動パターン（想像力の障害）」「言葉の発達の遅れ」などの特徴をもつ障害です。対人関係の質的な障害では、他人との関係がうまくとりにくく、他人との関わりが乏しくなるため、年齢に応じた社会や集団のルールを学んでいくことが困難です。コミュニケーションの（質的な）障害では、相手の意図を理解し、自分の気持ちをうまく伝えることが苦手です。反復・常同的な行動パターン（想像力の障害）は、ある動作や行動を繰り返したり、同じ状態を保とうとするので、新しい環境や、急な予定の変更が苦手です。

アスペルガー症候群は広い意味での「自閉症」に含まれ、知的な面や言語面での遅れがないことが特徴です。対人交流でも多少の違和感はあるものの大きな支障がなく過ごせるので就学前には診断がつかないことが多いです。

【2】注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（ADHD）

注意欠如・多動性障害は、「集中できない（不注意）」「じっとしてられない（多動・多弁）」「考えるよりも先に動く（衝動的な行動）」などを特徴とします。混合発現型、不注意優勢型、多動性・衝動性優勢型、その他に分かれます。以前は注意欠陥・多動性障害といわれていました。

【3】学習障害（LD）

全般的な知的発達に遅れはないにもかかわらず、読む、聞く、書く、話す、計算する、などの特定の能力を学んだり、行ったりすることに著しい困難を示すさまざまな状態を指します。

【4】チック障害

運動障害に分類されます。特にトゥレット症候群は、多種類の運動チック（突然に起こる素早い運動の繰り返し）と1つ以上の音声チック（運動チックと同様の特徴を持つ発声）が1年以上にわたり続く重症なチック障害で、このような運動や発声を、無意識に行ってしまうのが特徴です。

【5】吃音（きつおん）症

コミュニケーション障害に分類されます。「発語時に言葉が連続して発せられる」、「瞬間あるいは一時的に無音状態が続く」などの症状です。例えば、「あ、あ、あいす」等です。かつて「どもり」といわれましたが、現在は差別用語の一つであり使われなくなっています。吃音は2～5歳で発症することが多く、5歳までの幼児の約5%、学齢期の子供の約1.2%に吃音があるといわれます。ほとんどが小児期に治癒しますが、成人にも0.8～1.2%に吃音があると言われ、自信の喪失につながることもあるため、適切な対応が必要となります。

診断名は変わっていく

現在、米国精神医学会が作成したDSM-5という診断基準が用いられていますが、それ以前に使用されていた自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などの名称は、自閉症スペクトラム症/障害の中に統合されました。そのため診断を受けた時期によって、診断名が自閉症スペクトラム症/障害の場合と広汎性発達障害の場合があります。一方、行政上のサービスを受けるための診断書（手当・年金・手帳申請など）については「広汎性発達障害」「アスペルガー症候群」「自閉症」などの診断名が引き続き使用されています。

「発達障害」の相談

市町村の窓口や都道府県等の発達障害者支援センターに相談することができます。日常生活についての相談支援や発達支援、就労支援、普及啓発及び研修を行っています。

（目黒区の発達障害者支援センター）

児童発達支援センター「すくすくのびのび園」（障害福祉課）

所在地 〒152-0001 目黒区中央町2丁目23番24号

電話 03-3714-1617

当院小児科には専門外来は開設していませんが、常勤医が小児神経専門医です。予約なしでも発達障害の相談は可能ですので、どうぞお気軽にご受診ください。大切なのは、皆さんの「気づき」と「理解」です。

骨粗鬆症専門外来のお知らせ（整形外科）

～骨密度の低下は、適切な治療や生活習慣の改善により、くい止めることができます。～
骨粗鬆症の専門的検査・治療・手術を行うため、予約制の骨粗鬆症外来を開設しています。

月・火・金 午後2時20分から、一人20分の枠を4枠設定
ご予約は、**03-3716-8124** までご連絡下さい。（月～金 9時～16時）

※かかりつけのお医者様からのご紹介も承っています。
医療連携室（03-6863-2890）までご連絡ください。

失神でお悩みの患者様へ

リビールリンク（Reveal LINQ[®]）検査について（循環器内科）

最新の心電計「Reveal LINQ[®]（リビールリンク Medtronic社製）」を使用することにより、今まで検出できなかった病気の原因を特定することができ、より有効で安全な治療を行うことが可能となりました。

当院では、失神でお悩みの患者様に対し、症状に応じてこの最新デバイスによる検査を実施しております。

原因不明失神及びReveal LINQ[®]についてのより詳しい説明は、当院ホームページを御覧下さい。

URL：<http://kohseichuo.jp/depts/jyunkankinaika/reveallinq>

厚生中央病院 リビールリンク

検索



高齢化医療支援委員会を設置して取り組んでいます

当院は急性期の地域中核病院としての役割を担い、今後の超高齢化社会にも対応するため、約10年前から高齢化社会に適応した急性期病院を目指してきました。2015年7月より「高齢化医療支援委員会」を設置し、

- ① 認知症サポートチーム
- ② 緩和・リビングウィルサポートチーム
- ③ 嚥下・栄養サポートチーム
- ④ 低侵襲手術サポートチーム
- ⑤ 骨粗鬆症サポートチーム

の5チームを構成し、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学作業療法士等でチームを組み、院内で活動しています。お困りのことがありましたら、各診療科の外来を受診してください。



URL：<http://kohseichuo.jp/archives/12308>

厚生中央病院 高齢化医療支援委員会

検索